

2020年6月吉日

2020年度 日本神経生理検査研究会 通常総会開催のご案内

日本神経生理検査研究会 会長 石郷景子

ご挨拶

2020年度日本神経生理検査研究会 定期総会開催にあたり、本会を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。前年度より新執行部が発足となり、多くの課題を頂き、執行部交代直後、若干のトラブルもあり会員の皆様には多大なご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。新執行部においては、執行部 LINE 等を利用して種々の事項について意見交換や決定などが迅速に対応できるように致しました。会員の皆様のおかげで今年度の総会を開催することができ感謝しております。

さて、今年に入りまして新型コロナウイルスの影響で、2月以降当会の全国研修会や各支部の研究会もすべて中止になりました。また、現状においても他の学会や研究会も中止となり、今後の予定もつかない状況となっております。今年の4月7日に出された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が4月16日には対象地域が全都道府県に拡大され、5月4日には5月31日まで延長になり、皆様の自粛のおかげで5月14日には一部を覗いて解除されました。この間会員の皆様におきましては、仕事に対して生理機能検査においては、各学会から検査における注意喚起等が発表され、御苦勞なさいと思います。しかし、新型コロナウイルスもこれで終わりではありませんので、引き続き健康に気をつけて頑張っていたきたいと思います。今年度の研究会学術行事予定を総会議案書案に上げていますが、開催できることを願うばかりです。

日本臨床神経生理学会で昨年より「術中脳脊髄モニタリング分野認定医・認定技術師制度」が始まり、当会会員の方も多数申請をされました。術中モニタリングは今やなくてはならないものになり、臨床検査技師の仕事として頑張っていたきたいと思います。今後もメーリングリスト等を活用して盛り上げていただければと思います。

例年定期総会の開催期間が遅れていましたが、今年度はなんとか通常の期間に開催できる運びになりましたのでよろしくお願ひします。

開催期間は、6月1日～6月15日までの15日間とし、総会の議長に片山副会長を指名させていただきます。

今後も新執行部一同、全力を上げて当会の発展のために努力して参る所存でございます。会員の皆様に一層盛り上げていただけますようお願い申し上げます。学会や研究会などで皆様とお会いできますようお願いしております。

総会開催に向けての会長挨拶とさせていただきます。

2019 年度日本神経生理検査研究会 通常総会(電子会議方式) 式次第

- 1) 議長選出
- 2) 議案の提案と審議検討 (会期:2020 年 6 月 1 日～2020 年 6 月 15 日) 15 日間
 - (1) 1 号議案
2019 年度事業報告、収支決算、監査報告(2019.4.1-2020.3.31)
 - (2) 2 号議案
2020 年度事業計画案、予算案 (2020.4.1-2021.3.31)
 - (3) 3号議案
2020 年度年役員信任案
- 3) 審議と採択(当会ホームページより投票):議案一括採択方式とする
会則第 5 章 18 条『総会成立は、会員数の 1/10 の投票参加で成立とし、可否は投票数の過半数で決す』
- 4) 採択結果報告(ホームページにて中間報告と最終報告)

投票用紙→<https://forms.gle/3JGRUzRmXJZSWjyVA>

【註】平成から令和への元号変更に伴い本会の年度表示はすべて「西暦」表示とした

1号議案

2019 年度事業報告及び収支決算 (2019.4.1-2020.3.31)

【I 事業報告】

1) 評議委員会の開催

- ・2019 年度通常総会開催に先立ち、議案書(案)の審議を(2019.8.17-2019.8.25)に開催した。
- ・執行部作成の議案書案について意見・疑問点・追加文言などあり、原案に訂正や文章追加などを加筆修正した案が全員に承認された。

2) 2019 年度通常総会を電子会議形式にて開催 (2019.8.27-2019.9.10、15 日間)

- ・1号議案:2018 年度事業報告、収支決算、監査報告、2号議案:2019 年度事業計画案、収支予算案、3 号議案:会則改正案、4号議案:2019 年度役員信任案の4議案とし、1・2・4 号議案は一括で、3 号は会則改正であるので別途で投票とした。

- ・投票結果について:総投票数は 113 票でした(議案 1,2,4 については賛成 111 保留 2 反対 0、議案 3 については賛成 108 保留 4 反対 1)。賛成多数で今年度の議案書案は承認された。

また、今回は再投票も可能としたが再投票は 1 票だった。備考欄にご意見が 8 件あり執行部回答した。

- ・各支部投票内訳(関東 22、近畿 25、九州 13、中四国 7、中部 20、東北 16、北海道 10)
- ・最終投票数の支部別結果と執行部回答等をホームページにて広報した(2019.9.12、2019/10.8)。

- 3) 電子総会時に会員からの意見や討論を発言するにあたり、神経生理検査を話し合うメーリングリストを利用せず別総会用メーリングリストを希望する意見もあり、急遽、総会運営用 ML を立ち上げた。
次年度以降もこの総会運営用 ML の計画を実行できるように整備していく。

- 4) 執行部会の開催(2019.、WEB 会議にて) 出席者:高橋、片山、三浦、石郷、瀬川、水野

- ・全国研修会の開催形式を支部主導とし開催協力金を支給する件、
 - ・執行部役員交代と会則の役員項の一部見直しを諮る件を中心に討議を行った。
- 5) 表彰委員の途中退会に伴う人事の検討
- ・表彰委員の退会があり((丸田雄一氏、2019.12.4)、委員の1名欠員状態となったため、補充委員の自薦他薦を含めて検討を行った。その結果等は次年度事業計画に掲載した。

【Ⅱ. 2019年度決算報告】

2019年度収支決算書 (2019. 4. 1～2020. 3. 31)

会員数 624 名 (未納会員 223 名含む) (円)

収入の部	予算	決算	決算明細
1、会費	600,000	529,500	年会費、入会金合計 (複数年度納入があるため会員数の乗算ではない) 内訳: H29年 年会費 ¥500 × 8 名 H30年 年会費 ¥500 × 103 名 入会金 ¥1000 × 61 名 2019年 年会費 ¥1000 × 401 名 入会金 ¥1000 × 12 名
2、雑収入	10	11	利子
小計	600,010	529,511	
3. 前年度繰越金	694,729	694,729	
合計	1,294,739	1,224,240	

支出の部	予算	決算	
1、事業費	615,000	200,500	
23th全国研修会支度金	200,000	0	中部支部主導による2019年度全国研修会は新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み中止(期日未定の延期)とした
施行部費用弁償	200,000	0	
全国研修会積立金	0	0	
表彰	10,000	0	
支部研修会支援金	0	0	
支部活動補助金	205,000	200,500	¥500 × 401 名
2. 事務費	58,000	19,250	
会議費	10,000	0	
通信費	6,000	6,000	¥1000 × 6
執行部行動費	12,000	12,000	¥2000 × 6
消耗品費	10,000	0	
案内通信費	10,000	1,020	監査送料
予備費	10,000	230	振込手数料等
小計	673,000	219,750	
3. 次年度繰越金	621,739	1,004,490	
合計	1,294,739	1,224,240	

※特別会計 <全国研修会積立金>

	収入	支出	概要
前年度繰越金	200,000		2018年度拠出金として
受け取り利息	0		
2019年度全国研修会		0	開催中止
合計残高	200,000		次年度へ繰越

[Ⅲ. 学術活動]

1. 全国主催

2020.3.7 初の試みとして中部支部主導による 23 回全国研修会を企画し名古屋市立大学 講義室 A にて開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止(期日未定の延期)とした。

2. 支部主催

1) 北海道支部

- (1) 2019.9.14-15 第 68 回北海道支部神経生理検査勉強会・第 23 回宿泊研修セミナー、会場:比布町 游湯びっふ
テーマ「術中神経モニタリングの基礎と臨床」～ 必要とされる術中神経モニタリングのために～
■講演1『初めての術中神経モニタリング 脳外科領域を中心に』小川優司 技師(手稲溪仁会病院臨床検査部)
■講演2『これだけは 知っておこう術中脳神経モニタリング秘訣とコツ～最新の術中神経モニタリングについて～』
高谷恒範 技師(奈良県立医科大学 中央臨床検査部)
■ナイトセミナーⅠ『実技講習会』、ナイトセミナーⅡ『症例検討会』、ナイトセミナーⅢ『自由実習』
■講演 3『術中神経モニタリングのピットフォール症例から学ぶ』高谷恒範 技師(奈良県立医科大学中央臨床検査部)
- (2) 2020.2.29:第69回北海道支部勉強会(会場:北海道大学学術交流会館第一会議室)
新型コロナウイルス感染拡大を鑑み開催を中止した。

2) 東北支部

- (1) 2019.9.7 第8回 東北支部研修会、会場:坂総合病院 2階 セミナールーム
■講演「聴性脳幹反応(ABR)～検査の手技と工夫～」東北大学病院生理検査センター 小澤鹿子先生
■特別講演「非けいれん性てんかん重積の脳波診断」みやぎ県南中核病院脳神経外科部長 大友 智先生
■【神経エコー・神経伝導検査ライブデモ】「神経走行をエコーで確認しよう!～橈骨神経・腓骨神経・腓腹神経を中心に～」
坂総合病院 生理検査室 横山 績 先生、藤田 正子 先生

3) 関東甲信越支部

- (1) 2019.10.6 :第33回関東甲信越支部勉強会、【会場】日本光電フェニックスアカデミー
テーマ:『職場での脳・神経生理検査の技術維持の在り方を考えてみよう!』
■1. 教えてホッシーpart5『Collision法と Un Common nerve上肢デモ』星野哲 技師(帝京大学医学部附属病院)
■2. 質問に関するアドバイス講義
(1) 生理検査機器の精度管理 川口 港 技師(国立国際医療研究センター病院)
(2) H波の検査方法について 河島 江美 技師(北里大学病院)
■3. グループディスカッション
- (2) 2020.3.15(日) 第34回 関東甲信越支部研修会
新型コロナウイルス感染拡大を鑑み開催を中止した。

4) 中部支部

- (1) 2019.4.6:第31回中部支部研修会、会場:名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟11階講義室A
■症例提示「てんかん診療と検査技師の関わり～脳波検査を中心に～」榎原 久美子 技師(名古屋大学医学部附属病院)
■講演「IOM:ピットフォールとトラブルシューティングを中心に」板倉 毅先生(関西医科大学総合医療センター 整形外科)
■特別講演「私は神経伝導検査をこのように行っています」長谷川 修 先生(横浜市立大学名誉教授)
- (2) 2019.9.28:第32回中部支部研修会、場所:名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟11階講義室A
■症例提示「当院で経験した脳死判定時における神経生理検査」平澤英典技師(浜松医療センター)
■講演「術中モニタリング～明日からオペ室は怖くない～」石郷景子技師(大垣市民病院)
■「神経伝導検査～糖尿病性神経障害について学ぼう～」岡本恵助 技師(伊勢赤十字病院)
- (3) 2020.3.7(土):中部支部主導にて全国研修会を開催する予定が新型コロナウイルス感染拡大を鑑み開催を中止した。

5) 近畿支部

- (1) 2020.2.29:第8回 近畿支部研修会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み開催を中止した。

6) 中国四国支部

- (1) 2019.4.21:広島北部神経筋セミナー、会場:医療法人微風会 三次神経内科クリニック花の里
■【第1部】レクチャー「始めよう!伝導検査」:神経生理検査研究会会長 高橋 修先生
■【第2部】ライブデモ「基本的な神経伝導検査 超音波検査の進め方」:徳島大学神経内科 山崎 博輝先生
■【ランチョンセミナー1】「Nicolet EDXの特性を理解しよう」:ガデリウス・メディカル株式会社 広瀬 圭一様

■【ランチョンセミナー2】「神経難病患者への取り組み」:徳島大学神経内科特任講師 和泉 唯信先生

■【第3部】13:00～14:50 ハンズオンセミナー①神経伝導検査ベーシックコース:高橋修先生、佐藤研吾先生②神経伝導検査アドバンスコース :山崎博輝先生③神経筋超音波 :高松直子先生

(2)2019.8.31:中四国支部共催セミナー会場:TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前4Fホール4A

■①「検査技師が知っておきたい『てんかん』の基礎

■②てんかんスキルアップセミナー「メディカルスタッフのためのてんかんABC」

(3)2020.3.28:第1回広島神経筋エコーセミナー(中四国支部研修会)。新型コロナウイルス感染拡大を鑑み開催中止としました。

7)九州沖縄支部

(1)2020.2.29:第15回九州・沖縄支部研修会 新型コロナウイルス感染拡大を鑑み開催を中止した。

3. その他事業

新型コロナウイルス(covid19)の影響で開催中止が相次ぎ、例年より繰越金が多いため、次年度の全国研修会の充実、および支部支援の拡充を図る予定。

【 IV. 2019 年度 監査報告 】

[監査報告書]

2020年 5月 10日

日本神経生理検査研究会
会長 石郷 景子 殿

2019年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

会計監査 三浦 祥子 (印)

記

1. 会務について、事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
2. 会計について、会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

2号議案

2020年度事業計画案および予算案(2020. 4. 1～2021. 3. 31)

【 I. 事業計画案 】

1. 組織、運営に関すること

- 1) 会員が神経生理検査の質向上に寄与し、社会に広く認知されるように本会の組織のさらなる活性化および人材育成を行っていく。同時に次期幹部役員の発掘・指名・育成を進める。
- 2) 会員の情報交換の場として活用されているメーリングリストの適切な運営と、さらなる充実を図る。
- 3) 年1回の総会を電子総会として開催する。
- 4) 本会の迅速な組織運営を進めるために積極的にSNSやWeb会議系ソフトの利用を検討し利用する。

2. 学術関連における他団体との連携に関すること。

- 1) 日本臨床衛生検査技師会や日本臨床神経生理学会とは、認定制度や生涯教育における従来の交流を継続するとともに、新しい制度や検査項目などの情報収集と広報活動を推進する。
- 2) 専門学会との交流は、臨床検査技師が関わる日本臨床神経生理学会を中心とするが、神経学会や末梢神経学会などの学術団体などの交流も視野に入れて、研究会の充実と会員の利便性を図る。
- 4) 日本臨床神経生理学会が主催する、神経筋診断セミナー、術中脳脊髄モニタリング委員会やセミナー、脳波セミナー・アドバンスコース委員会やセミナーなどの専門技術交流が図れる団体等とは積極的に参画し、また情報交換を図り、会員の技術育成に関与する。

3. 表彰事業に関すること

- 1) 会員のモチベーションの上昇を考慮し、表彰制度を推進する。
- 2) 対象とする論文は、前年度に発表された論文について表彰委員が吟味し推薦する。
- 3) 表彰委員の交代や今年度選考についてはホームページの表彰委員会議事録を参照されたい。

4. 新型コロナウイルス(Covid-19)感染拡大による緊急事態宣言に伴う集会自粛要請への当会の対応
今年度における支部研修会やセミナーの開催については日臨技や関連学会の動向を見極め、それに倣う方向性で対応していきたい。また、集会での会員相互の情報交換の場が不十分になると考え今年度限りの特例として下記の2つの案を提案した。

(1) 支部研修会支援金の給付

2018年度にも実施した事業であるが、今年度は全支部を対象に5万円を還付して支部活動の活性化に役立てていただきたい。

(2) 自動退会規定の特例として2年会費未納を今年度に限り3年未納とする。

今年度の会費納入会員数が各支部とも例年より減少しており、これも新型コロナウイルス感染拡大を受けて恒例の年度末の研修会がすべて中止となったために集金機会を逸したことが大きな原因ではないかと思われる。

- ・会則では年会費2年未納で自動退会としているが、今年度に限り特例として1年猶予期間を延長し、3年未納で退会とすることを提案したい。
- ・実務的には2019年度会費を、2021年3月末までに完納していない会員が2021年度に自動退会となる。

5. メーリングリスト(ML)の運用について (巻末資料を参照)

会員情報交換の場として運営しているMLを2つとし、〈内規3〉として利用規約を提案した。

- 1) 神経メーリングリスト (学術・情報交換ML): 本会でいままで利用してきたML。
- 2) 運営メーリングリスト (総会・事務連絡ML): 主として期間限定で総会等での意見交換用として新設したML。

【 II. 学術活動 】

- ・各支部の研修会は、すべて現状の新型コロナウイルス(covid-19)感染状況が終息になり集会自粛要請が解除されているという条件をクリアできれば開催する、という前提での計画である。
- ・可能であればインターネットを利用したセミナー開催も検討する。

1. 全国主催

2020年度第23回全国研修会を中部支部主導にて開催予定

期日: 2021.3ごろ ホームページおよびメーリングリストで広報する

2. 支部主催

1) 北海道支部

- (1) 2021.3ごろ: 支部勉強会を開催する予定

2) 東北支部

- (1) 2020.9.5: 支部研修会開催予定、変更の可能性あり
 - ① 症例検討など: 太田総合病院附属太田熱海病院 臨床検査部 品田佳位 先生
 - ② 小児脳波について: 東北大学医学系研究科 てんかん学分野 柿坂庸介 先生
 - ③ 誘発電位計のQ&A: 日本光電 講師未定

3) 関東甲信越支部

- (1) 2020.10.4: 第35回関東甲信越支部勉強会、場所: 多摩総合病院フォレスト
内容: 未定
- (2) 2021年2 or 3月の日曜日12:00~: 第36回関東甲信越支部勉強会
場所: 未定、内容未定

4) 中部支部

- (1) 2020.10.3: 第33回 中部支部勉強会、場所: 静岡市立静岡病院。延期・中止の可能性あり。
内容: 未定

(2) 2021.3ごろ:全国研修会予定

5) 近畿支部

2021.2月か3月: 第8回近畿研修会、会場:天理医療大学など
内容は中止した前回セミナーの同企画を予定

6) 中国・四国支部

- (1) 広島神経筋エコーセミナー
 - (2) 徳島大学サマーセミナー
- 2件とも開催時期は未定です。

7) 九州沖縄支部

日程:未定

内容:中止となった前回と同企画の講演会+グループディスカッションを予定

【 Ⅲ. 会員表彰 】

表彰委員会にて推薦者を選考し、執行部および評議員会にて承認された以下の会員の論文を
会長賞と学術奨励賞として表彰し賞状と記念品(1万円相当)を贈呈する。

なお、表彰委員会での選考会議録は巻末に掲載した。

1) 会長賞:高谷恒範 氏(奈良県立医科大学 中央手術部)

対象論文:「術中神経モニタリングにおけるチェックリストの運用と安全管理の現状について」
高谷 恒範, 重松 英樹, 本山 靖, 中瀬 裕之, 川口 昌彦
臨床神経生理学、47 巻 3 号 p. 131-138、2019

2) 学術奨励賞:大栗聖由 氏(香川県立保健医療大学 臨床検査学科)

対象論文:「High-frequency component in flash visual evoked potentials in type 3 Gaucher disease」
Brain & Development 42(2020),19-27
Masayoshi Oguri a, Yoshiaki Saito b,c, Tohru Okanishi d, Yuka Matuura a,
Shota Akiyama a, Takuya Ikeguchi a, Aya Narita b, Yasuaki Hirooka a, Yoshihiro Maegaki b,

【Ⅱ. 2020年度予算計画書】

2020年度収支予算書(案)(2020. 4. 1~2021. 3. 31)

会員数 549名 (2020年度納入会員 316名、未納会員 233名) (円)

収入の部	前年度決算	予算	予算明細
1、会費	529,500	500,000	2020年度年会費、同入会金合計および 2018、2019年度会費納入予定額も含む概算
2、雑収入	11	11	利子
小計	529,511	500,011	
3. 前年度繰越金	694,729	1,004,490	
合計	1,224,240	1,504,501	

支出の部	前年度決算	予算	予算明細
1、事業費	200,500	970,000	
23th全国研修会支度金	0	200,000	新型コロナ感染状況次第で開催決定(担当支部:中部支部)
執行部費用弁済	0	200,000	
全国研修会積立金	0	0	
学術表彰	0	20,000	
支部研修会支援金	0	350,000	¥50,000×7支部
支部活動補助金	200,500	200,000	¥500×400名
2. 事務費	19,250	60,000	
会議費	0	10,000	
通信費	6,000	10,000	Webセミナーや会議の検討含む
執行部行動費	12,000	10,000	¥2000×5
消耗品費	0	10,000	
案内通信費	1,020	10,000	
予備費	230	10,000	振込手数料等
小計	219,750	1,030,000	
3. 次年度繰越金	1,004,490	474,501	
合計	1,224,240	1,504,501	

3号議案 2020年度年役員信任（案）

日本神経生理検査研究会役員案（下線は今年度より新役員）

1. 執行部役員(任期二年目)

会長	石郷 景子	(大垣市民病院)
副会長	片山 雅史	(純真学園大学)
副会長	佐々木 一朗	(神戸市立医療センター中央市民病院)
事務局長	瀬川 義朗	(自宅)
会計	谷中 弘一	(獨協医科大学病院)

2. 支部代表者(支部長)

北海道支部	山本 雅史	(北海道大学病院)
東北支部	赤塚 れい子	(山形県立河北病院)
関東甲信越支部	河島 江美	(北里大学病院)
中部支部	<u>坂下 文康</u>	<u>(三重県立総合医療センター)</u>
近畿支部	松下 隆史	(神戸市立医療センター中央市民病院)
中国・四国支部	<u>佐藤 研吾</u>	<u>(鳥取大学医学部保健学科)</u>
九州沖縄支部	八木 和広	(潤和会記念病院)

3. 評議員会(順不同・敬称略・執行部役員および支部長)

石郷 景子	(大垣市民病院)
片山 雅史	(純真学園大学)
瀬川 義朗	(自宅)
佐々木 一朗	(神戸市立医療センター中央市民病院)
谷中 弘一	(獨協医科大学病院)
山本 雅史	(北海道大学病院)
赤塚 れい子	(山形県立河北病院)
河島 江美	(北里大学病院)
<u>坂下 文康</u>	<u>(三重県立総合医療センター)</u>
松下 隆史	(神戸市立医療センター中央市民病院)
<u>佐藤 研吾</u>	<u>(鳥取大学医学部保健学科)</u>
八木 和広	(潤和会記念病院)

4. 監査

三浦 祥子	(広南病院)
-------	--------

5. 顧問

高橋 修	(済生会東神奈川リハビリテーション病院)
水野 久美子	(名古屋市立大学)

6. インターネット運営委員および事務局委員

瀬川 義朗	(自宅)
佐々木 一朗	副会長兼務

7. 表彰推薦委員(順不同・敬称略)

片山 雅史	(純真学園大学)
<u>和田 晋一</u>	<u>(天理医療大学)</u>
<u>小山 由実</u>	<u>(広島大学病院)</u>

日本神経生理検査研究会メーリングリスト利用規約 (案)

1. 目的

日本神経生理検査研究会（以下：本会）メーリングリスト（以下：ML）は、会員相互の親睦を深め、横の繋がりを重視し円滑な情報交換を図ることにより、神経生理検査全般の教育や研究活動のさらなる充実や活性化を目的として開設・運営しています。

2. 運営と管理

- 1) MLの運営に関する実務は本会のインターネット委員会と事務局が担当し、執行部および評議員会が必要に応じて管理と監査を行うものとする。
- 2) 本MLは、本会に入会した会員のみ限定した閉鎖的MLであり、登録されたアドレスへのみ配信され、投稿も登録アドレスのみ可能である。会員であっても非登録アドレスはエラーとなる。

3. メーリングリストの種類

- 1) **神経ML**（学術・情報交換用で運用されている）
 - (1) アドレス名は、「**nerve@umin.ac.jp**」であり投稿文の先頭には[nerve:××××××]が付与される。
 - (2) 常時運営され、学術的な質問疑問や相談や研修会などの広報や有益な情報や話題提供など本会の目的に沿ったアットホーム的な投稿内容とする。
- 2) **運営ML**（総会や研修会や事務連絡専用として運営されている）
 - (1) アドレス名は、「**SSKK-workshop@umin.ac.jp**」であり投稿文の先頭には[soukai:××××××]や[nerve-ws:××××××]などが付与される。目的によって先頭文字は変更あり。
 - (2) 運営MLは常時運用されるものではなく、主として本会の**定例電子総会開催開始からおおむね3ヶ月間の運用**とする。
 - (3) 総会時の議案書案や運営に対する意見や質問・疑問等や執行部回答等の投稿内容とする。
 - (4) 投稿マナーとして署名ありが望ましいが、自由意見として匿名でも投稿を考慮する。
 - (5) 運用期間外の事務連絡などは事務局へ直接メールを送信すること。

3. ML登録

- 1) 本会への入会申込をされた時点で、**本規約に同意されたものとし**、上記の2つのMLに申込時のメールアドレスをMLに新規登録する。
- 2) 登録するメールアドレスは、できるだけ会員個人にのみ配信されるアドレスが望ましく、職場での共用アドレスは避けること。
- 3) なお、本会への入会には入会費および年会費を納入した時点で正会員となるが、本ML登録は会費納入時点の情報が事務局に伝達されるまでのタイムラグがあるため、会費納入前の仮会員の時点で登録を行う。
- 4) 登録はおおむね1週間以内に完了し、登録完了後、事務局より新会員（仮）紹介と登録運用テストを兼ねて、「支部名、所属、氏名、メールアドレス」を神経MLに広報する。

4. MLへの投稿の一般的ルールとマナー

- 1) 発言には責任を持ち、所属氏名等の形式で誰が発信しているのかを明記すること。
- 2) 新会員（仮）は**ML配信確認**を兼ねて、まず簡単な所属氏名を含む自己紹介メールを投稿すること。
- 3) 新しいテーマでの発言の場合は、返信機能を使わず、タイトルを編集して投稿すること。
- 4) 同一タイトルで返信を繰り返すとタイトル名に[**Re:RE:re:Re:・・・**]と「**R:タイトル**」が長文化し、また前文の引用を繰り返すと本文が長文となり大変読みにくい文章となるので適切にカットして投稿してください。
- 5) 投稿文は極力プレーンテキストを用い、機種依存文字（半角カタカナ、アラビア数字、丸括弧数字等）の入ったメールを送らないこと。
- 6) 添付ファイルは原則禁止であるが、神経生理検査の性格上波形や図やPDFを用いた説明がより明確に伝わる場合にはこの限りではない。
- 7) 添付ファイルの容量の目安は、**上限2MB**までとする。
添付ファイルは投稿者の責任で念入りにウィルスチェック行うこと。

- 8) 登録者はウィルス対策ソフト等のウィルス対策を行い、定期的にウィルスチェックや更新を行なうこと。
- 9) ML内では敬称（〇〇先生や御侍史等）は使わず、すべて親しみを込めて『〇〇さん』で呼びかけてください。ただし最低限の礼節は守ってください。
- 10) ML宛の投稿を、誤って個人宛アドレスに送信しないよう注意すること。
- 11) 個人宛メールを誤ってMLアドレスに送信しないよう投稿前に再確認すること。
もし誤って私信をMLに投稿された場合は直ちに謝罪と本文無視の旨をMLに投稿してください。
- 12) 一度MLに配信され拡散されたメールは管理者は削除できません。
- 13) 会員にとり有益と思われるWEBページのURLを紹介される場合は、安全性を確認の上ご紹介ください。
- 14) 本MLで得た情報の引用や転載は、投稿者の許可を必要とする。
有用な情報として外部に回覧してもよいと投稿者が判断するものは、投稿記事に「転載、引用可」と明示するものとする。「転載、引用可」と明示された情報の転載・引用については投稿者の了解は必要としない。
- 15) 外部からのメールの転送、情報の引用・転載・紹介については、著作権のみならずプライバシー等を侵害する可能性が高いのでそのようなことがないように十分注意してください。MLへの転送・引用・転載・紹の場合は各自の責任で必要な手続を取ってください。

5. 禁止事項

投稿内容について検閲は行なっておらず、作成文章がそのまま投稿される。

以下の発言・事項・行為は禁止とし、会員はこれを遵守し健全なML運営にご協力ください。

- 1) 本MLで知り得た情報を投稿者に無許可で非会員に漏洩・閲覧・配布する行為
- 2) 公序良俗、法令に違反するまたは違反するおそれのある発言
- 3) 犯罪的行為に結びつく発言
- 4) 会員や第三者の財産、プライバシーを侵害する発言
- 5) 会員や第三者に被害や不利益を与える発言
- 6) 会員や第三者を誹謗、中傷する発言
- 7) 本MLの趣旨から外れた商業利用の宣伝と思える発言
- 8) 特定の宗教や政治団体への勧誘に類する発言
- 9) ウィルス情報や煽動的な疾病や災害や事故情報等に類するチェーンメールの発言
- 10) ML上の運営を意図的に妨害する発言
- 11) 商業利用、高額セミナー、利益相反を伴う（学術的中立性に関わる）営利目的の投稿
- 12) その他、人種差別、偏見、嫌がらせ、中傷、誹謗、罵倒、脅し、わいせつ、その他本メーリングリストを閲覧した会員に不快感や嫌悪感を与えるような発言
- 13) 各項で事務局または執行部が一般常識として不相当と判断する発言

6. 登録抹消と本会退会

- 1) 所属変更や退職やアドレス変更などの理由により使用不可となった会員アドレスは、配信不可メールが管理者に連絡されるので、1ヶ月の猶予期間後に本人への確認連絡なしに登録抹消します。
- 2) 使用不可となったアドレスがあれば、速やかに有効な個人アドレスを事務局まで連絡すること。
- 3) 本会への希望退会や会費滞納による自動退会となった会員アドレスは登録抹消します。
- 4) 思い違い・失念・過失・故意を問わず上記のマナーや禁止事項に抵触すると思える発言があれば、管理者は注意（イエローカード）、警告（レッドカード）を与えることができる。
- 5) 故意・過失を問わず、管理者の注意に従わず「禁止事項」に抵触するメールを繰り返し投稿するなど、迷惑行為を行ったときは投稿一時停止や登録抹消さらに本会からの退会措置をとる場合がある。
- 6) その他、事務局が必要と認め、執行部もしくは評議員会にて承認を得た時は退会措置をとる場合がある。

7. 免責事項

- 1) MLに投稿された発言の文責は、原則として投稿者自身が負います。
- 2) 投稿された発言から得られた情報の利用およびそれに基づく結果は、会員各自の責任で行ってください。
投稿内容に明確な事実誤認等が確認されれば、事務局からその旨アナウンスすることはあり得ますが、その義務は負いません。
- 3) ML登録者のパソコンによるウィルス感染が原因でプライバシーや業務上の秘密がML上に配信された場合でも、その結果を本会や事務局は一切責任を負いません。

8. その他

このメーリングリストは大学病院医療情報ネットワーク研究センター(通称：UMIN)を利用して運営しています。UMIN のサーバー段階でウィルスは除去されることになっているため、おおよそウィルス付きのメールが配信される心配はないものと考えています。ウィルス付きのメールが投稿された場合には、「virus alert のメール」が配信されますので、万が一の場合には注意してください。また、サーバーの保守管理により配信停止の日もあるので承知ください。

9. 本規約の制定および改定

- 1) 本会の神経 ML は、2002 年の会則制定に伴い、投稿マナーとしての心得を本会ホームページ上にて公表していた。運用 ML は 2019 年度に試運転を行い 2020 年度からの利用を準備している。
- 2) 会員相互のアットホーム的な情報交換の場として運営されてきたが、近年会員数の増加も著しくなり、やはり成文化された<メーリングリスト利用規約>を定めておくことも必要と考えられた。
- 3) 本規約を 2020 年度総会に諮り承認されれば、総会終了後正式に<日本神経生理検査研究会-内規 [3]>として制定する。
- 4) 本規約の訂正、追加、変更等は執行部で協議し評議員会にて承認を受けるものとする。

表彰推薦委員会報告

執行部にて

令和元年度末に現委員の丸田会員から退会の連絡があり、新任の委員選考を開始した。残留する片山が末梢、誘発、筋電図領域であるため、脳波やモニタリング、ISO 対応に詳しい会員から選考を開始。2019 年 12 月半ばから翌1月にかけて検討し、3 氏を候補として協議した結果、新任委員は天理医療大学：和田氏、広島大学病院：小山氏として評議員会に諮問、承認を受けた(2020.1.16-2.2)。その後、委員の委嘱状および兼業依頼書などを即時送付、受理され決定した。

以下表彰推薦委員会議事録

40 歳以上の会長賞、40 歳未満の学術奨励賞の推薦者を選考。
会長賞は、奈良県立医科大学附属病院 高谷恒範氏、学術奨励賞として香川県立保健医療大学 大栗聖由氏、および鳥取大学医学部附属病院検査部 高森稔弘氏が挙げられ、高森氏が受賞経験者であったため以下の 2 氏を評議員会および総会に推薦する。

2020 年度 学術表彰候補者

会長賞：高谷恒範 氏(奈良県立医科大学 中央手術部)

対象論文：「術中神経モニタリングにおけるチェックリストの運用と安全管理の現状について」

高谷 恒範, 重松 英樹, 本山 靖, 中瀬 裕之, 川口 昌彦

臨床神経生理学、47 巻 3 号 p. 131-138、2019

学術奨励賞：大栗聖由 氏(香川県立保健医療大学 臨床検査学科)

対象論文：「High-frequency component in flash visual evoked potentials in type 3 Gaucher disease」
Brain & Development 42(2020),19-27

Masayoshi Oguri a, Yoshiaki Saito b,c, Tohru Okanishi d, Yuka Matuura a,
Shota Akiyama a, Takuya Ikeguchi a, Aya Narita b, Yasuaki Hirooka a, Yoshihiro Maegaki b,

今後の表彰推薦の在り方についての協議(2020.2.16)

和田委員より、『会員自身に発表した論文を ML でアピールしてもらうのはどうか？選考に役立つだけでなく、会員のモチベーションアップにも繋がるのではないか』との提案あり。

立候補するかしないかは本人の自由を前提とし、査読有りの論文が掲載された場合、自薦他薦問わず、推薦委員まで連絡してもらうことで、全体を網羅できると判断した。推薦内規を若干変える必要があるため、評議員会、総会に諮る予定。また、会員の業績を広く知らしめるために ML への PDF 添付について議論があった。事務局で ML 管理運営サイドに問い合わせ、可能であることが確認された。今後、受賞者の講演の機会を設けることも議案として挙がり、検討していくこととなった。

(2020.3.31 文責 表彰委員会委員 片山雅史)

執行部会議録 2020

<2019/8/27~2020/5/22>の期間における「執行部 ML」と「執行部 LINE-グループ」を利用した話し合いでの発言（約 1600 発言：重複前後あり）をテーマごとに分類し会議録として整理した。

1) 2019/8/27~2019/9/11 (約 50 発言)

2019 年度総会にて出された提案、意見、質問、叱責などについて執行部の総意としての返答をまとめるために、メーリングリストにて活発に意見交換を行った。

また、発言や提案について返答や即時対応できるものは役員合意で総会期間中であっても行った。

(①総会への発言を通常の神経 ML ではなく、総会用専用 ML のテスト運用を行った。②投票保留に対して再投票もできるようにした、等々)

2) 2019/9/12~2019/10/22 (約 500 発言)

(1) 総会閉会となり、賛成多数で 2019 年度議案書案は承認されたが、閉会後も会員からの意見もあった。執行部として新役員（佐々木一朗氏、谷中弘一氏）も加入され、これを期に執行部 ML だけでなく即時性があるスマホでの“LINE”による執行部グループ（以後 執行部 LINE）も立ち上げた。

今年度総会での意見集約とそれに対する返答について ML と LINE にて、さらに話し合いを継続し、10/8 に執行部の総意として回答一覧を当会ホームページに UP した。

(2) 総会開催時期についての検討

総会時、開催時期をできるだけ早くにと望む意見もあり、執行部で実質可能な時期についてディスカッションを行った。4 月開催が理想であるが、各支部からの行事計画案・会費納入などの提出メ切などを考慮すると難しい。しかし今後とも審議を継続し各支部長とも情報交換を行いつつ 4 月開催を目指すこととした。

つぎに、2020 年度の実現可能な開催時期を検討し、早ければ 5 月、遅くとも 6 月には開催できるように逆算して各種の準備を進めようとなった。

また、できれば総会開催の手順書を明文化しておき、各支部にも周知すれば毎年決まった時期に開催が可能になるのではないかと提案もあり継続検討することとした。新会長は任期中に決定を希望した。

(3) 従来の神経学術 ML と、総会への意見質問などは分離して投稿して欲しいとの要望もあり試運転的運用を開始したが、準備不足もあり配信不良なども発生し次年度はもう少し運用面に注意を払って行うとなった。

3) 2019/10/23~2020/2/25 (約 510 発言)

(1) 「今年度の全国研修会について」を主眼に会議を重ねた

(研修会相談のためこれより中部支部支部長 山本貴子氏も LINE 会議に登録した)

- ・中部支部幹事会に会長より打診し開催担当を了承された。
- ・会場はいつもの名古屋市立大学講堂とし開催日は 2020/3/7 を検討しているとのこと。
- ・テーマ「今日からあなたも小児神経が好きになる！～多角的視点から知識を深めよう～」となり決定している講師とタイトルの報告があり、未定のテーマについて講師相談を受けアドバイスをした。
- ・未定の講師に決定した。
- ・研修会参加費を格安で 3000/4000 円（弁当付）との提案を了承した。
- ・プログラム確定しホームページにて広報にて行った。
- ・配付資料は出費と手間の節約のため PDF 版の配布とする事を了承した。
- ・宿泊について開催翌日に名古屋国際女子マラソンがあるため近隣が予約不可で 20 分遠方に決定した。
- ・2 月中旬より新型コロナ感染が徐々に拡散し研修会開催での感染予防対策を検討した。

◎2020/2/19 LINE ビデオ会議を開催（石郷、瀬川、佐々木、谷中）した。メールでのやり取りでは意思伝達が不十分になり決定が遅れてしまう懸念があるためである。最終的に全国研修会の中止（期日未定の延期）を全員一致で決定した。片山も同日メール賛同した。ただし、研修内容がたいへん充実しているので、2020 年度にぜひとも同内容で開催できるよう中部支部とともに進めて行く事とした。

・なお、ビデオ会議前に山本支部長から支部の世話人会議にて開催中止もしくは延期の打診があり、執行部としても今後の感染拡大は続くと考えられたので早急に総意を決定しておく必要があった。

・後日に会長名と支部長の連名で神経 ML に中止の広報を行った（2020/2/24）

・すでに中部支部に送金した全国研修会開催補助金については、まだ未使用であったので、20 万をそのまま全国会計に戻すとし支部長にも了解を得た。

・その後、各支部の2月末～3月の研修会の中止連絡が各支部長より続々と入り、2019年度末の研修会はすべて中止（期日未定の延期）となった。その旨ホームページとMLにて広報した。

（2）今後の討議テーマの列挙

a. 役員の仕事分担の確認、b. 3/7の全国研修会について、c. 2020総会へのタイムスケジュールの検討、d. メーリングリストの運営規約、e. ホームページ運営について等などについて次年度総会までに検討審議を重ねておく必要がある。

（3）日本臨床神経生理学会に出席した新旧役員らで、会務の引き継ぎと参集して討議を行った。

・引き継ぎ終了後、会計は補助金還付を実行した。

（4）表彰委員の退会による補充委員の検討

・ある程度分野ごとに担当する委員がいる方が各自の負担減となる。

・複数の委員候補をリストアップし委員依頼を打診したところ、天理医療大の和田晋一氏、広島大学病院の小山由実氏が受諾され委嘱状と兼業依頼書を発行した。

・これ以降表彰委員会は独自のLINEグループにて選考会議を開催し会長特別賞1名、学術奨励賞1名を選抜した。

・2020/1/26～2/2（10発言）、表彰委員の交代について「臨時評議委員会」を開催した。

執行部からの新表彰委員への推薦2名（和田氏、小山氏）を提案し全会一致で承認を得た。この委員会での会議は会議録として残し次年度総会に資料として付録する。

4）2020/3/13～2020/5/20（約350発言） 年度総会開催と議案書案の検討

（1）各支部へ次年度行事、最新名簿提出、2020年度会費および2019・2018会費保留残金の送金について〆切期日（3月末→4/20に変更）を付けて行う提案を相談し合意した。

（2）2020年度事業計画と予算案について

・新型コロナ感染拡大により今年度の活動は立案しても実施の見通しが予想できない状況である。納入された年会費等について、各支部の研修会行事を支援するためにも2018年度にも行った「支部活動支援金」を、申請なしに7支部に還元する提案があった。会員数に応じた支援金案も検討されたが、最終的に各支部に同額を支援することで全会一致をみた。

・会費納入が昨年より早まったためと新型コロナの影響か未納会員が例年より多くみられた。そのため2年滞納で自動退会の規定にかかる会員が多く発生する可能性があったことに鑑み、今年の特例として自動退会のタイムリミットを今年度末までに引き下げる提案があり検討の結果、この案を採用することに決定した。

・メーリングリストの運営について、昨年度に試運転した「運営ML」を正式に開始し、本会のMLは

①神経MLと②総会ML（仮称）の2本立てとする案について検討した。

利用規則もしくは使用規約は明文化されていないため、「内規3」として利用規約を作成し本会の主要な活動といえるメーリングリストの利用の充実を検討。後日「内規3」として作成し執行部で賛同を得た。2020年度総会に資料として付録する。

・予算書の細部について意見や提案があり、検討を繰り返して5/22に最終案を全会一致で決定した。事前予告しておいた「評議委員会」に提出し審議検討を受ける予定となった。

<2020.5.22 文責 執行部事務局長 瀬川義朗>